

代表質問

代表質問とは、市政全般について各会派(1人会派を除く)の代表者が行う質問をいいます。本市議会では、年に1回、9月定例会2日目に行っています。質問時間は会派の所属議員数に応じて決まっており、市長または教育長が答弁します。今回は、5つの会派から15件の質問があり、紙面には質問とその答弁の要旨を掲載しました。

政和会

永田政弘議員

平成18年度予算編成に向けての考え方

議員 ①今年度予算の執行状況と9月以降の予想は。

②平成18年度予算における基本的重点施策は。

市長 ①4、5月の暫定予算期間、一部事業の実施時期等が若干おくれた事例もあるが、市民生活への影響は特になかったと考える。また、6月以降は例年と変わりなく経過しており、9月以降の予算執行についても、特に影響はないと考える。

②情報公開と市民参加の一層の推進を具体化するともに、自治基本条例の制定に向けた事業の開始等を検討したい。また、公共施設の再配置の一つとして、仲町公民館・図書館の建てかえの検討なども視野に入りたい。

小平市の教育改革の流れとこれからの学校づくり

議員 ①小平市の教育をどう進めていくのか。

②市の教育改革の流れと今後

市議会公明党

立花隆一議員

治療から予防重視の医療に転換を

議員 ①生活習慣病予防のための健康診断・個別指導体制の課題と改善すべき点は。

②運動療法の活用や食生活の改善指導をどうとらえているか。

③80歳まで自分の歯を20本保つための歯科検診と、自己管理で健康づくりを行う、いわゆる8020運動の推進についての見解は。

市長 ①40歳以上の市民を中心に各種の健康診断、健康教育、健康相談を実施してきたが、青年期からの対策も重要であるため、今後は介護予防の観点からの取り組みも必要と考える。

②運動・栄養などによる生活習慣の改善は必須のことと考え、現在、各種の取り組みを実施している。

③マタニティクラスでの口腔衛生指導・むし歯予防教室・成人歯科健診・歯科医療連携推進事業等を実施しており、今後もさらに8020運動などに取り組んでいきたい。

現時点での予測は困難だが、今後10年程度の間には、この世代の相当数が退職等で地域に戻ってくることを考えている。

②単に福祉的な生きがい対策・支援という観点ではなく、団塊の世代の持つ性格や特徴を十分に生かし、有用な社会的資源として活用・支援する方向で考えていきたい。

電子政府・電子自治体戦略会議から見た小平市のIT化政策

議員 ①この1年間の情報システムの進捗状況と今後の予定は。

②急激な情報通信技術の進展

治療から予防重視の医療に転換を

子育て支援のさらなる拡充

議員 ①今年度予算に盛り込んだ子育て支援施策の効果は。

②今後の具体的な取り組みは。

市長 ①乳幼児医療費助成制度の所得制限撤廃を4歳未満児まで拡大し、子育て中の家庭の経済的な負担を軽減した。また、保護者の就業時間の多様化などにこたえるため、延長保育の拡充等に努めたほか、ファミリー・サポート・センター事業、子どもつどいの広場事業についても10月から実施できるよう準備を進めている。

②小平市次世代育成支援行動計画の主要推進事業である、地域における子育て支援サービスの充実、保育サービスの充実、児童虐待防止対策、経済的負担の軽減等を柱として、施策の検討を進めていきたい。

③災害時、何分でも本部長室の本格的な体制が整うのか。

議員 ①災害時、何分でも本部長室の本格的な体制が整うのか。

市長 ①昨年12月以降、電子調達サービスと電子申請サービスを順次開始した。体育館、公民館などの公共施設の利用予約をインターネット経由で行うシステムについては、庁内に検討部会を設置して、早期の稼働を目指している。

電子政府・電子自治体戦略会議から見た小平市のIT化政策

議員 ①この1年間の情報システムの進捗状況と今後の予定は。

②急激な情報通信技術の進展

日本共産党小平市議員団

木村まゆみ議員

市民の暮らしを応援する平成18年度予算の編成

議員 ①市民の暮らしをどのように認識しているか。

②平成17年度の税収の実績と平成18年度予算の見込みは。

③国の三位一体改革の影響をどのように見込んでいるか。

④都の重要施策2006依命通達への対応は。

⑤介護保険の5年後の見直し等に関連して、生活困窮者への対策は。

⑥障害者支援費制度をより使いやすいものにする工夫は。

⑦子育て支援の分野における施策についての考えは。

⑧平和のための施策をもう一

2006年度予算に向けて

議員 21世紀は環境と人権がテーマである。時間的な広がりと同時に、世界や日本全体を見据えながら小平のことを考えると、地域の・空間的な広がりもある。来年度予算を編成する際に、どのような考え方で優先順位をつけていくのか。

市長 長期的な視点等で第三次長期総合計画前期基本計画の検討を進めており、この中で各施策の基本的な方針を整理して、計画的に事業を計上していく。

フォーラム小平

高橋三男議員

団塊の世代と人事政策

議員 ①いわゆる団塊の世代と言われる職員数は。

②嘱託職員と再任用職員との関係や比率はどうか。

市長 ①昭和22年の学年度に生まれた職員は35人、昭和23年は41人で、昭和24年は51人となっている。

②嘱託職員は地域センター等、さまざまな業務に、再任用職員は原則として内部事務に従事している。比率については、公務

事業の重要度はもとより、状況に見合ったスクラップ・アンド・ビルドや、社会の潮流を見据えた創意工夫や特定財源の確保などを総合的に検討し、優先度を判断して、限られた財源を重点的、効果的に配分していきたい。

議員 ①いわゆる団塊の世代と再任用職員との関係や比率はどうか。

市長 ①昭和22年の学年度に生まれた職員は35人、昭和23年は41人で、昭和24年は51人となっている。

今後のまちづくりは緑豊かな住環境の整備を

議員 4月に開発の手続に関する条例が施行されたが、今後ま

小・中学校に落ちつきを

議員 ①新規採用教員が多いため、年齢的なバランスが崩れ、学校経営に支障が生じることが心配されると聞かれています。

②学校一斉公開の総括は。

教育長 ①経験が浅いため、十分な実践力はないが、教職に対する意欲と使命感は学校に活気と潤いを醸し出し、児童・生徒に良い影響を与えている。

②評価する声が多いが、さまざまな意見があるため、よりよい方法を検討しながら、今後も実施していきたい。

議員 ①平成16年度末のすべての基金を合計した貯金と、一般会計、特別会計、土地開発公社を合計した場合の借金の市民1人当たりの金額は。

②多摩類似10市における貯金と借金の順位は。

市長 ①貯金は6万円で、借金は40万6千円である。

貯金と借金は

議員 ①平成16年度末のすべての基金を合計した貯金と、一般会計、特別会計、土地開発公社を合計した場合の借金の市民1人当たりの金額は。

②多摩類似10市における貯金と借金の順位は。

小・中学校に落ちつきを

議員 ①新規採用教員が多いため、年齢的なバランスが崩れ、学校経営に支障が生じることが心配されると聞かれています。

②学校一斉公開の総括は。

教育長 ①経験が浅いため、十分な実践力はないが、教職に対する意欲と使命感は学校に活気と潤いを醸し出し、児童・生徒に良い影響を与えている。

②評価する声が多いが、さまざまな意見があるため、よりよい方法を検討しながら、今後も実施していきたい。

議員 ①平成16年度末のすべての基金を合計した貯金と、一般会計、特別会計、土地開発公社を合計した場合の借金の市民1人当たりの金額は。

②多摩類似10市における貯金と借金の順位は。

市長 ①貯金は6万円で、借金は40万6千円である。

貯金と借金は

議員 ①平成16年度末のすべての基金を合計した貯金と、一般会計、特別会計、土地開発公社を合計した場合の借金の市民1人当たりの金額は。

②多摩類似10市における貯金と借金の順位は。